科目コード	R7029	科目名	高齢期作業療法学				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	宮崎　洋幸 ・ 渡邊　哲也						
授業の概要	老年期医療・老人保健分野での作業療法士の役割は大きい。作業療法士は対象者の老年期特有の状況を考慮し、心身、そして脳機能の状態をとらえる力を有している。老年期分野で作業療法を用いるための脳、身体、精神に関する知識を統合する力を養う。						

DPとの関連		
	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける	○
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける	◎
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける	○
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける	△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	身体面、精神面、社会的側面から、老化について説明することができる。 老年期の人々への援助のためのリスク管理を述べることができる。
履修上の注意事項	資料配布は最小限にします。黒板に書く内容をノートに整理して理解してください。受講態度として、許可のないスマートフォンの使用を禁止とし、授業に関係のない私語や居眠りを慎んでください。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション・高齢者に関する基本知識【宮崎】	
2	老化・老年症候群について【宮崎】	
3	高齢期作業療法の目的【宮崎】	
4	高齢期作業療法が実施される場所【宮崎】	
5	高齢者に対する作業療法士の基本的態度【宮崎】	
6	作業療法の手技と技法（評価・観察）【宮崎】	
7	作業療法の手技と技法（面接）【宮崎】	
8	認知症に関する知識(病態、中核・周辺症状と臨床像)【渡邊】	
9	認知症高齢者の作業療法①(評価とその目的)【渡邊】	
10	認知症高齢者の作業療法②(アクティビティと活動形態)【渡邊】	
11	認知症高齢者のリスク管理【渡邊】	
12	認知症者の家族支援及び多職種連携と認知症初期集中支援チーム【渡邊】	
13	事例検討①【宮崎】	
14	事例検討②【宮崎】	
15	高齢期作業療法の実践／総括【宮崎】	

成績評価方法	期末テスト80%、課題レポート・小テスト20%として評定し、双方6割以上修得することで単位評定します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	高齢期作業療法学 第3版・松房利憲　他（医学書院）	978-4-260-02440-2
参考書	老年学　第5版 ・ 大内尉義 他（ 医学書院）	978-4-260-03947-5
	認知症の作業療法 ・ 小川敬之　他（医歯薬出版）	978-4-263-21334-6
	認知症のある人の生活と作業療法 ・ 守口恭子（三輪書店）	978-4-89590-610-4

教員からのメッセージ	小テストをいれる予定にしています。 資料などはクリアファイルなどに保管し、確認出来るようにしておいて下さい。
教員との連絡方法	適宜、研究室を訪れてください。 メールでの連絡：miyazhiroy@hcu.ac.jp （宮崎）　　watanabe777@hcu.ac.jp （渡邊）
実務経験のある教員	